

スーパーマーケット景気動向調査

2025 年 8 月調査結果（7 月実績）
（2025 年 8 月 21 日公表）

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因やカテゴリー別好不調要因を補足する役割を果たすことも期待しています。

【経営動向調査】

1. 経営状況：「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」スーパーマーケット中核店舗における各経営状況について

- ・前年同月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で評価
- ・前年同月を100とした当月の値を調査 ※2014年4月実績より

2. カテゴリー動向：「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」スーパーマーケット中核店舗における各カテゴリーに販売動向について、

- ・前年同月と比較し「かなり好調」から「かなり不調」までの5段階で評価
- ・各カテゴリーの好不調要因についてのコメント

経営動向調査 DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比(%)に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

【景況感調査】

1. 景況感：「景気状況」「消費者購買意欲」「店舗周辺の競合状況」「店舗周辺地域の景気」について、

- ・2～3ヵ月前と比較した現状について「かなり改善」から「かなり悪化」まで5段階で評価
- ・今後2～3ヵ月の見通しについて「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で評価

景況感 DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比(%)に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

一般社団法人 全国スーパーマーケット協会
一般社団法人 日本スーパーマーケット協会
オール日本スーパーマーケット協会

8月調査（7月実績）結果概況

現状判断DIは再び50を回復

7月のスーパーマーケット中核店舗における景気判断DIの現状判断は前月から+2.2の50.2、見通し判断が前月から+1.5の45.5となり、共に小幅に改善し、現状判断は、1月以来6ヵ月ぶりに50を回復した。

経営動向調査では、売上高DIは二桁プラス水準まで上昇、収益DIもプラス圏に回復した。生鮮品仕入原価DI、食品仕入原価DIが上昇したことで販売価格DIは高水準を維持。客単価、来客数DIも前月より上昇した。

カテゴリー動向調査では、非食品を除くカテゴリーで前月より上昇、DIはプラス圏を記録した。米価格の高止まりと備蓄米放出による品薄感の解消と点数増、飲料や涼味などの好調により一般食品DI、猛暑による調理敬遠志向などを背景に惣菜DIが二桁プラス圏を維持している。（カテゴリー別動向に詳細掲載）

景況感調査は現状、見通しともにDI小幅な改善をみせたものの、水準としては、景気判断DIに比べ、他のDIは低水準で推移している。（長期傾向はP11参照）

7月は、平均気温が歴代1位となるなど記録的な猛暑を受け、飲料、涼味など夏物商材を中心に堅調な販売動向となった。備蓄米の流通後も銘柄米は高止まりし、関連品、麺類など代替商品を含め売上伸長が続いた。

一方で水産・畜産の相場高騰、食品価格の上昇傾向は続いており、消費者購買意欲DIの伸び悩みにもみられるように、消費者の節約志向による販売数量減少への警戒感根強い。また記録的な猛暑により、日中の来客数減少と朝・夜への来店シフトが顕著にみられたほか、頻発する豪雨の発生などもあり、販売体制や調達の見直しを迫られているといえよう。引き続き、米の供給や価格動向にも留意と情報収集が必要となるだろう。

景況感調査

現状判断

景気判断DI
当月：50.2 (+2.2)
前月：48.0

消費者購買意欲DI
当月：45.2 (+1.6)
前月：43.6

周辺地域 競合状況DI
当月：46.0 (+1.3)
前月：44.7

店舗周辺地域 景気判断DI
当月：48.3 (+2.1)
前月：46.2

見通し判断

景気判断DI
当月：45.5 (+1.5)
前月：44.0

消費者購買意欲DI
当月：43.4 (+0.5)
前月：42.9

周辺地域 競合状況DI
当月：43.1 (+0.6)
前月：42.5

店舗周辺地域 景気判断DI
当月：46.3 (+1.7)
前月：44.6

経営動向調査 経営状況

売上高DI
当月：13.6 (+5.8)
前月：7.8

客単価DI
当月：15.7 (+2.4)
前月：13.3

来客数DI
当月：-0.9 (+4.2)
前月：-5.1

収益DI
当月：3.2 (+3.5)
前月：-0.3

販売価格DI
当月：24.6 (+1.6)
前月：23.0

生鮮品仕入原価DI
当月：20.0 (+2.3)
前月：17.7

食品仕入原価DI
当月：25.5 (+3.8)
前月：21.7

カテゴリー動向

青果DI
当月：4.0 (+9.7)
前月：-5.7

水産DI
当月：0.7 (+5.0)
前月：-4.3

畜産DI
当月：3.1 (+0.9)
前月：2.2

惣菜DI
当月：15.6 (+3.8)
前月：11.8

日配DI
当月：10.3 (+5.2)
前月：5.1

一般食品DI
当月：18.5 (+0.2)
前月：18.3

非食品DI
当月：-5.8 (-4.3)
前月：-1.5

※DI値は前年同月との比較／○内は前月DIからの変化

結果詳細 I. 経営動向調査 (2014年1月～)

1. 売上高 DI

前月から大幅に上昇し、二桁プラス圏

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
売上高 (前月)	4.3	16.8	31.1	39.1	8.7	7.8
売上高 (当月)	1.4	14.1	25.4	47.2	12.0	13.6



2. 収益 DI

前月から上昇、プラス圏を回復

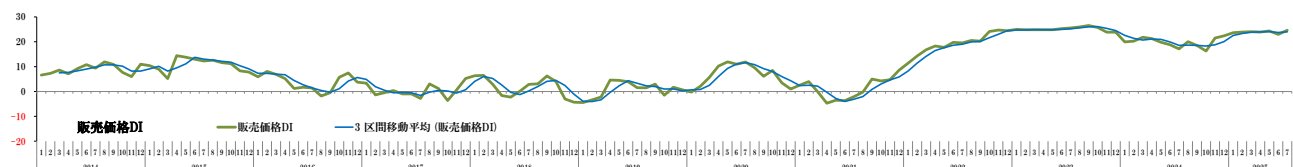
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
収益 (前月)	7.5	24.5	36.5	24.5	6.9	-0.3
収益 (当月)	5.0	21.3	36.2	31.2	6.4	3.2



3. 販売価格 DI

前月から小幅に上昇、二桁プラス水準で推移

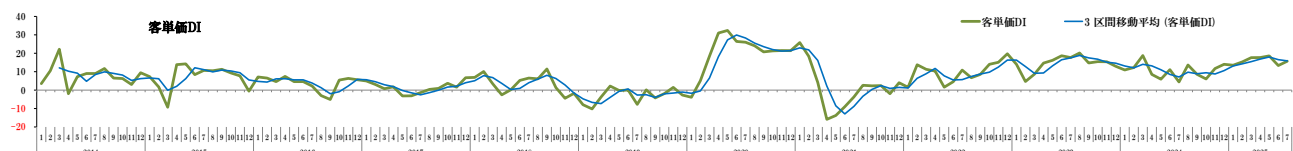
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
販売価格 (前月)	0.0	0.6	17.5	71.3	10.6	23.0
販売価格 (当月)	0.0	0.7	12.1	75.2	12.1	24.6



4. 客単価 DI

前月から小幅に上昇、二桁プラス水準を維持

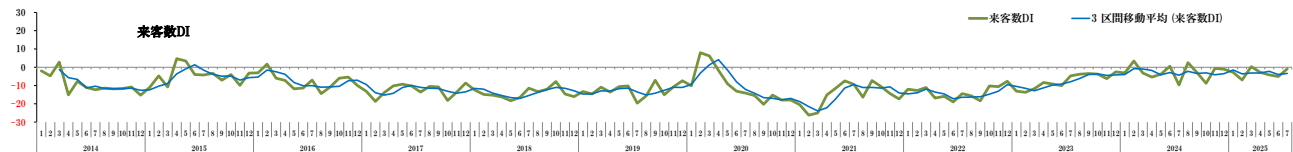
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
客単価 (前月)	0.6	7.6	34.2	53.2	4.4	13.3
客単価 (当月)	0.7	5.6	31.0	55.6	7.0	15.7



5. 来客数 DI

前月から上昇、マイナス圏も回復傾向

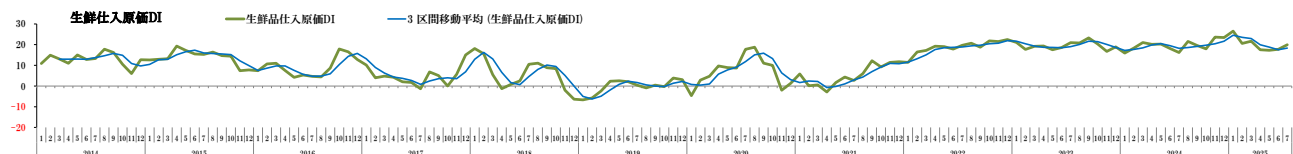
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
来客数 (前月)	7.0	34.2	35.4	19.0	4.4	-5.1
来客数 (当月)	3.5	27.5	40.1	26.8	2.1	-0.9



6. 生鮮仕入原価 DI

前月から上昇、二桁プラス水準で推移

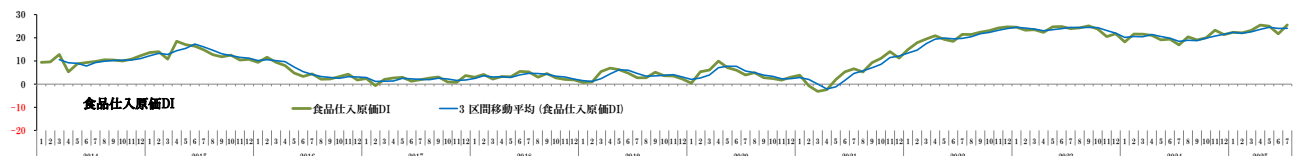
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
生鮮仕入原価 (前月)	1.3	7.1	19.4	63.9	8.4	17.7
生鮮仕入原価 (当月)	0.0	5.8	18.7	65.5	10.1	20.0



7. 食品仕入原価 DI

前月から上昇、51 か月連続プラス圏

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
食品仕入原価 (前月)	0.7	3.9	17.6	63.4	14.4	21.7
食品仕入原価 (当月)	0.0	1.4	13.8	65.9	18.8	25.5

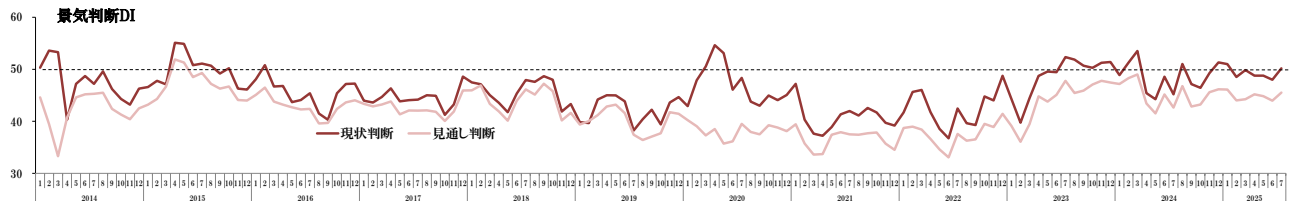


Ⅱ．景況感調査（2014年4月～／周辺地域景気判断 2010年4月～）

1. 中核店舗景気判断 DI

現状、見通し共に改善、現状判断は50台を回復

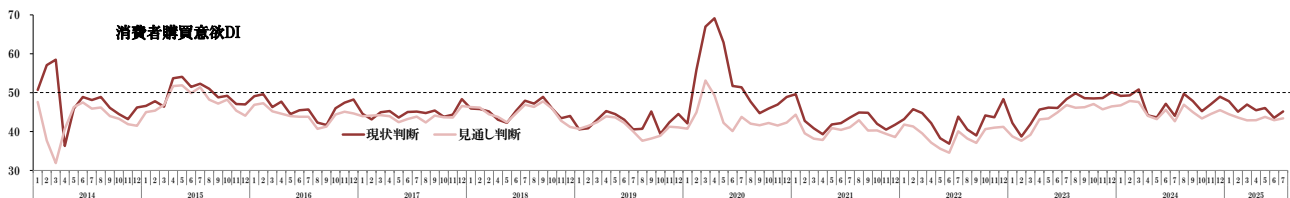
回答構成比（％）	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】景気判断（前月）	1.9	17.9	67.9	11.1	1.2	48.0
【現状】景気判断（当月）	0.7	17.2	62.8	19.3	0.0	50.2
回答構成比（％）	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】景気判断（前月）	3.1	27.2	61.1	8.0	0.6	44.0
【見通し】景気判断（当月）	2.1	23.4	64.8	9.7	0.0	45.5



2. 消費者購買意欲 DI

現状判断は小幅に改善、見通し判断は前月水準

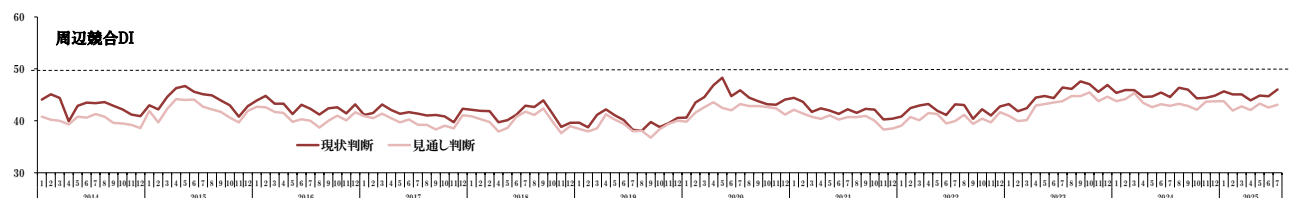
回答構成比（％）	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】購買意欲（前月）	0.6	28.8	66.3	4.3	0.0	43.6
【現状】購買意欲（当月）	0.7	24.8	67.6	6.9	0.0	45.2
回答構成比（％）	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】購買意欲（前月）	0.6	30.7	65.0	3.7	0.0	42.9
【見通し】購買意欲（当月）	1.4	28.5	65.3	4.9	0.0	43.4



3. 中核店舗周辺競合状況 DI

現状判断は小幅に改善、見通し判断は前月水準

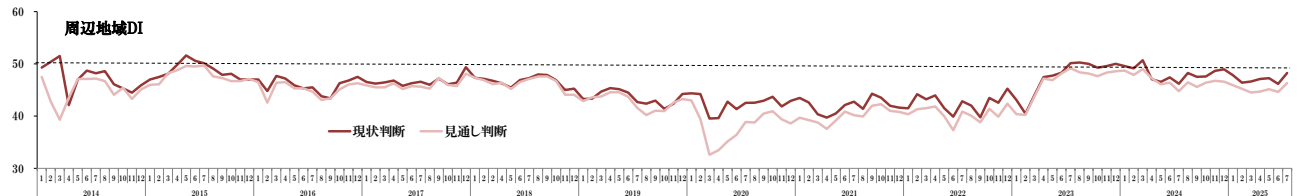
回答構成比（％）	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】競合状況（前月）	1.2	21.1	75.2	2.5	0.0	44.7
【現状】競合状況（当月）	2.1	14.5	80.7	2.8	0.0	46.0
回答構成比（％）	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】競合状況（前月）	2.5	26.7	68.9	1.9	0.0	42.5
【見通し】競合状況（当月）	3.4	21.4	74.5	0.7	0.0	43.1



4. 中核店舗周辺地域景気判断 DI

現状判断、見通し判断共に小幅に改善

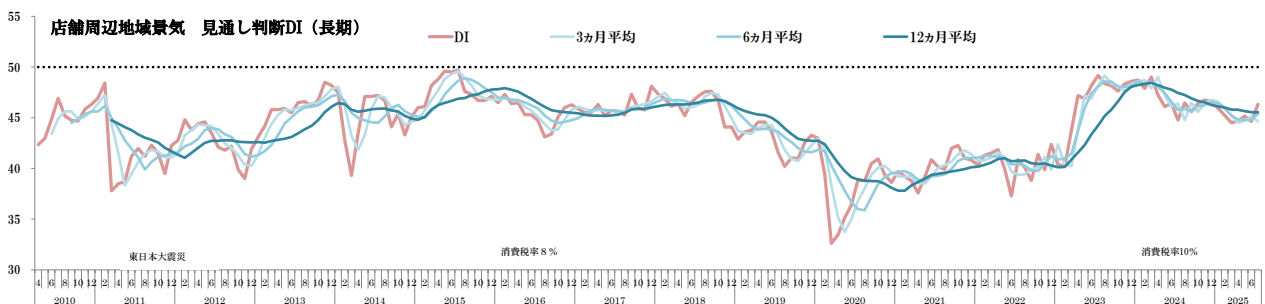
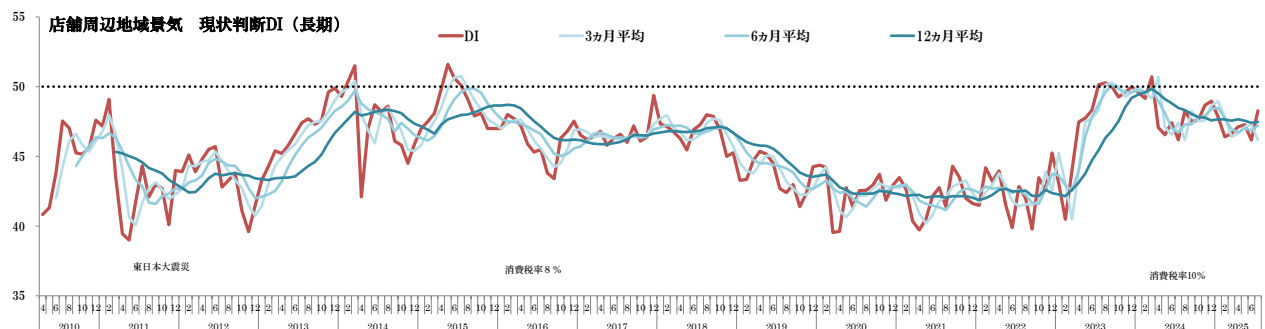
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】地域景気 (前月)	0.0	16.0	83.4	0.6	0.0	46.2
【現状】地域景気 (当月)	0.0	11.8	83.3	4.9	0.0	48.3
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】地域景気 (前月)	0.0	22.1	77.3	0.6	0.0	44.6
【見通し】地域景気 (当月)	0.0	18.2	78.3	3.5	0.0	46.3



・中核店舗周辺地域景気判断 DI 長期傾向 (2010 年 4 月～)

周辺地域景気判断 DI は 2011 年 3 月の東日本大震災以降低迷が続けたが、12 年 11 月から 16 ヶ月にわたる改善が続き、14 年 3 月は現状判断 DI が 51.5 を記録。14 年 4 月の消費税率 8% 引き上げにより大幅に悪化するも徐々に持ち直し、15 年 5 月には現状判断 DI は 51.6 に達し、調査開始以来の最高値を更新した。その後 15 ヶ月間にわたり悪化傾向は続き 16 年 9 月には、現状判断 DI は 43.4 まで低迷した。

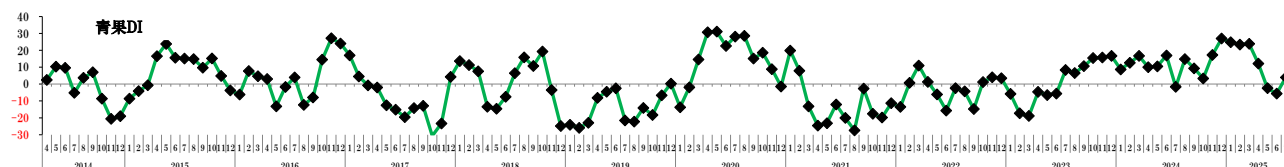
以後方向感の乏しい推移が続いたが、18 年の後半から悪化傾向が顕著となり、19 年 7 月には現状判断 DI は 42.3 まで低下した。21 年は、感染状況により上下する動きとなった。22 年は、感染が再拡大した 7 月以降に大幅な改善をみせた。23 年も改善が続き、7 月には判断の分かれ目である 50 を突破、その後も高水準を維持した。24 年前半に悪化したものの、後半は緩やかな改善傾向が続いた。25 年はダウントレンドが見られるが、3 月まで悪化幅は限定的となっている。



Ⅲ. カテゴリー別動向

1. 青果 DI：4.0（やや好調）

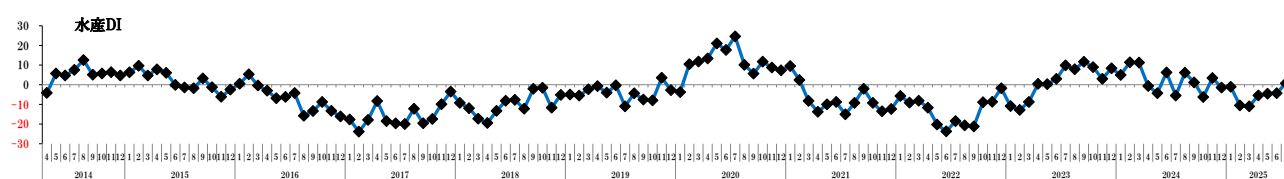
回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
青果（前月）	6.7	40.7	28.0	18.0	6.7	-5.7
青果（当月）	5.1	21.9	33.6	30.7	8.8	4.0



青果相場は前年より高値水準ではあるものの、全般に落ち着きもみられており、販売数量が底堅く推移し、やや好調となった。高い気温により、涼味、季節野菜（オクラ、みょうが、しょうが）、サラダ関連野菜が好調となった。一方でじゃがいも、たまねぎなど土物類は不調となった。一部には、高温による品質低下を指摘するコメントもみられた。国産果物ではスイカやメロン、輸入果物ではキウイ、カットフルーツも引き続き好調に推移した。

2. 水産 DI：0.7（やや好調）

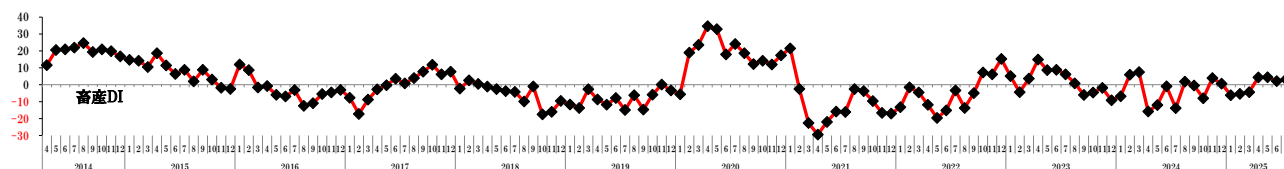
回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
水産（前月）	8.6	34.4	27.2	25.2	4.6	-4.3
水産（当月）	6.7	26.9	29.9	29.9	6.7	0.7



相場高の状況が続き、入荷も不安定な影響を受けているなか、マグロやサーモンなどの刺身類、海藻類などサラダ用商材の動きがよく、全体としては前年並みとなった。「土用の丑」は一の丑が土曜となり好調な店舗が多いが、大型店との競合や、国産品の相場高による輸入品シフトで伸び悩んだ店舗もみられた。アジ・イワシは豊漁で好調な一方で、生カツオは不漁で不調とする声が多く、魚卵・塩干も厳しい状況が続いた。

3. 畜産 DI：3.1（やや好調）

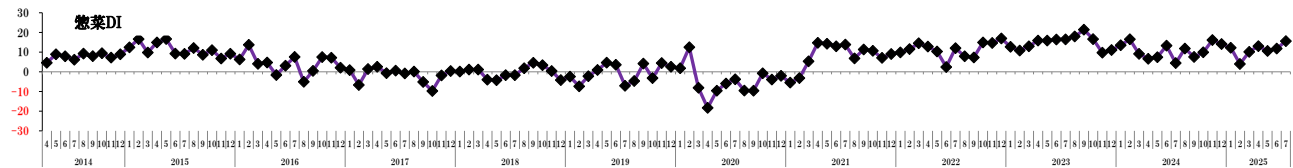
回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
畜産（前月）	5.3	24.5	35.8	25.2	9.3	2.2
畜産（当月）	5.2	25.2	31.9	27.4	10.4	3.1



相場の高騰傾向が続いており、牛肉の不振と豚肉・鶏肉への需要シフトが継続している。牛肉は国産、輸入共に高値推移が続き苦戦傾向だが、猛暑を追い風に週末の BBQ、焼肉需要は好調、味付け肉の動きもよかった。豚肉は冷しゃぶ用が伸長も、国産豚の価格高騰が続き、輸入豚が好調に推移した。鶏肉も価格高騰が続き、数量が伸び悩んだ。特売が打てない、利益確保に悩む、などのコメントが多くみられた。

4. 惣菜DI：15.6（好調）

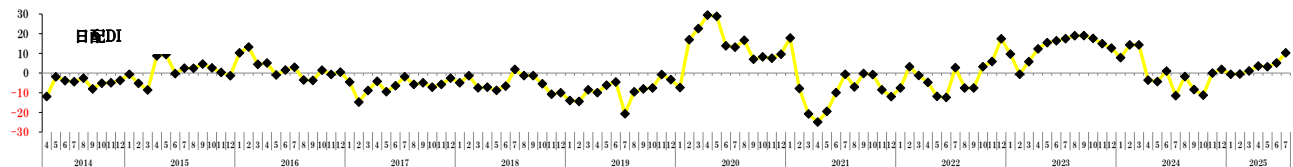
回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
惣菜（前月）	0.7	13.3	35.3	39.3	11.3	11.8
惣菜（当月）	0.8	9.0	27.1	53.4	9.8	15.6



コメ価格の高止まりにより、弁当・おにぎりなど米飯類が引き続き好調に推移した。猛暑により、家庭での調理を避ける傾向を追い風に、揚げ物・てんぷら類は堅調に推移。サラダ関連や冷惣菜の動きも良い。夏休みの昼食向け、土用の丑関連のウナギ弁当、丼物も好調に推移した。一方で生食を敬遠してか寿司類は動きが鈍いという声も。売価の見直し後も販売数量が堅調で、好調とのコメントが多くみられた。

5. 日配DI：10.3（好調）

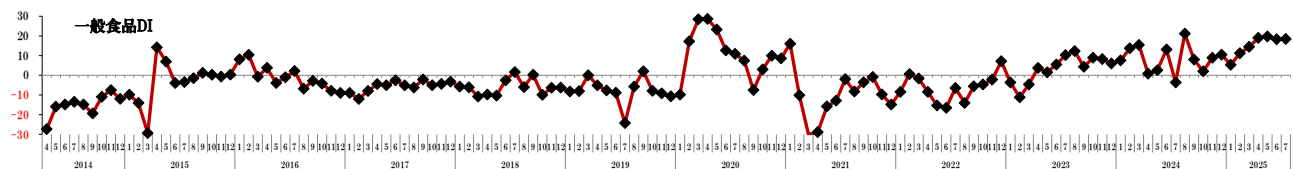
回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
日配（前月）	3.3	19.2	36.4	35.8	5.3	5.1
日配（当月）	2.2	12.5	38.2	36.0	11.0	10.3



猛暑により、アイス・氷菓やチルド飲料、涼味麺が好調。鶏卵は価格高騰が続き好調に推移、売上を牽引した。和日配では、納豆や梅干、ところてんや豆腐、漬物など涼味・即食・塩分補給関連の動きがよい。洋日配ではヨーグルトの好調が続く一方で、牛乳や、価格改定のあったチーズ類は伸び悩んだ店舗が多い。パン類は高温で好不調の判断がわかれている。冷凍食品は冷凍野菜を中心に引き続き堅調な推移で定着感がある。

6. 一般食品：18.5（好調）

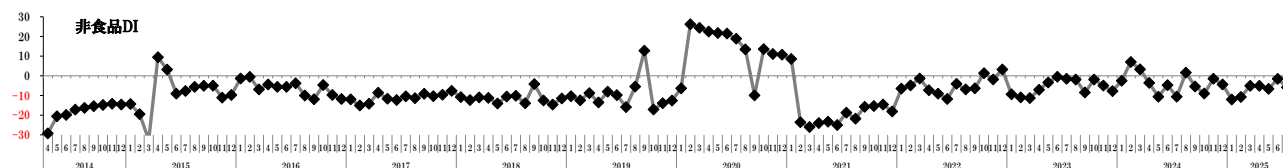
回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
一般食品（前月）	1.3	8.7	26.7	42.0	21.3	18.3
一般食品（当月）	1.5	8.2	25.4	44.8	20.1	18.5



米は備蓄米の入荷も増えて品薄が解消、販売点数が伸びる一方、銘柄米は価格が下がらず好調な動向が続いている。代替品として、レンジ米飯、パスタ、インスタント麺類なども好調を持続。猛暑により素麺、つゆなど涼味商材、飲料やビール・サワー類が好調、コーヒー類の動きもよい。台風や渇水に備えた備蓄品の動きもよかった。一方でスープ類、油、洋風調味料は伸び悩んだ。値上げ傾向が継続しており、単価が上昇する一方で、販売点数の伸び悩みを指摘するコメントが多い。

7. 非食品 DI：-5.8（やや不調）

回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
非食品（前月）	8.2	22.6	41.1	23.3	4.8	-1.5
非食品（当月）	10.0	33.8	32.3	16.9	6.9	-5.8



猛暑の影響で、日焼け止めや制汗剤、保冷剤など熱中症対策商品の動きもよい。汗をかくため、衣料用洗剤が好調とのコメントが多い。殺虫剤・虫ケア用品は高すぎる気温と少雨により、前年より伸び悩んだとのコメントもみられた。ティッシュペーパーやトイレトペーパーなど紙製品は値上げ後低迷している店舗が多い。ドラッグストアやホームセンターなどとの競合激化を指摘するコメントが引き続き多くみられた。

カテゴリー別 DI による好不調判断

かなり好調： ～ 20 好調： 20 ～ 10 やや好調： 10 ～ 0
 やや不調： 0 ～ -10 不調： -10 ～ -20 かなり不調： -20 ～

2025 年 8 月調査（7 月実績）キーワード TOP3

1. 猛暑の影響
2. 米の品薄解消
3. 食品価格上昇

（参考）2024 年 8 月調査（7 月実績）キーワード TOP3

1. 土日が一回少ない影響
2. 猛暑の影響、天候不良と前年との気温差
3. 節約志向の高まり

スーパーマーケット景気動向調査 集計数

7 月実績速報版 145 社
 6 月実績確報版 163 社

スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ

スーパーマーケット統計事務局 tokei@super.or.jp